

令和8年9月2日(水)

「牧之原市台風15号に伴う竜巻等災害」発災から1年の対応状況について

※8月27日現在の確定値

令和7年台風15号竜巻等災害の概要

令和7年9月5日12時50分頃、静岡県牧之原市静波から榛原郡吉田町大幡にかけて突風が発生した。

JMA-MOTによる現地調査の結果、静岡県牧之原市静波から榛原郡吉田町大幡にかけて発生した突風の種類は竜巻と認められ、その強さは風速約75m/sと推定され、日本版改良藤田スケールでJEF3に該当するものと発表された。

令和7年9月5日、台風第15号周辺の暖かく湿った空気が流れ込んだ影響で、静岡県内では大気の状態が非常に不安定となり、活発な積乱雲が発生した。

活発な積乱雲が通過した牧之原市周辺のアメダス観測点（菊川牧之原）では、13時の1時間降水量113.5mmを記録しており、この時間帯と竜巻被害の発生時刻が重なっている。また、日積算降水量（総雨量）は219.5mmを記録した。この日の日最大1時間降水量（127.0mm）は同観測点での観測史上第1位である。

1 人的被害

本市における竜巻等は、短時間に過ぎ去ったものの、静波、細江、坂部地区の広範囲に渡り、住家の屋根瓦がはがれ、飛び、ガラスの破損により屋内に風が吹き込み、屋根が飛んだ住家、鉄骨造店舗の外壁材の飛散、電柱の倒壊、トレーラーの横転などの多くの被害が発生したが、人的被害は、14人の骨折やガラスによる裂傷などの重傷者、軽傷者64人であった。

(1) 災害対策本部会議の運営（令和7年9月5日～11月28日）

9月5日12時50分頃に発生した竜巻を受け、災害対策本部を設置した。以後、11月28日に災害対策本部を廃止するまでの間に、計38回の災害対策本部会議を開催した。

※9月5日災害救助法の適用

※11月11日激甚災害指定 閣議決定

災害の危険が解消され、応急措置がおおむね完了したことから、11月28日17時をもって、牧之原市災害対策本部を廃止とした。

(2) 復旧対応会議の運営

11月28日をもって災害対策本部は廃止となったが、被災者支援等については引き続き対応を行う必要があることから、復旧対応会議を開催し、令和8年度からは復興支援会議に名称を改め、現状や今後の対応方針等について情報共有を現在も継続している。

2 罹災証明書・住家被害認定調査の状況 確定数

社会福祉課【被災証明書交付のみ継続中】※3/4 申請受付終了

罹災証明申請数：累計 1,521 件－171 件（取り下げなど）＝1,350 件

罹災証明交付数：累計 1,521 件－171 件（取り下げなど）＝1,350 件

未発行数：0 件

被災証明書交付数：1,727 件

税務課【終了】

総調査済数：1,446 件（罹災申請 1,350 件＋再調査 96 件）

再調査依頼数：96 件（今後の調査 0 件）

再調査済数：96 件（再調査 85 件＋再々調査 10 件＋再々々調査 1 件）

今後の調査数：0 件（累計 1,350 件）

住家被害認定調査結果

全壊	73 棟	うち、非木造	0 棟
大規模半壊	47 棟	うち、非木造	1 棟
中規模半壊	76 棟	うち、非木造	17 棟
半壊	147 棟	うち、非木造	11 棟
準半壊	304 棟	うち、非木造	19 棟
一部損壊	703 棟	うち、非木造	52 棟
計	1,350 棟	うち、非木造	100 棟

3 これまで実施した市の対応について

【時系列順】

(1) 避難所開設（R7.9.5～R7.11.28）

主な避難所：榛原文化センター、川崎コミュニティ防災センター

最大避難者：53 世帯 116 人

(2) ブルーシート、土のう袋の配布（R7.9.5～R7.11.4）

物品名	払出し数
ブルーシート	6,135 枚
土のう	2,680 枚

(3) 携帯電話・スマートフォンの充電サービス（R7.9.5～R7.9.17）

場所：榛原文化センター、細江コミュニティセンター、坂部区民センター

(4) 災害ごみの受け入れ（R7.9.5～R7.10.26）

場所：静波海岸仮置き場、東萩間仮置き場

(5) 市道4路線の通行止め対応（R7.9.5～R7.9.14）

細江地区内のがれき撤去車優先とするため、市道4路線について、市職員が交通規制を行った。

令和8年9月2日(水)

(6) 農地、農業用施設、農作物等の被災状況確認 (R7. 9. 5～R7. 9. 19)

発災初日より、一次調査としてハウス等の被災状況について2名1班体制、全3班にて確認を行った。その後詳細調査として、県農林水産部局、及び県内農林事務所より職員応援依頼を行い、延べ16名の支援を受けて調査を実施した。

(7) 道路、河川、公園等の公共施設の被災状況確認 (R7. 9. 5～R7. 9. 10)

竜巻による被災を受けて、市内全域の道路、河川、公園等の公共施設の被災状況確認を9月5日から9月10日にかけて実施した。

(8) 給水所の設置 (R7. 9. 6～R7. 9. 9)

牧之原市役所榛原庁舎水道課前 107 件

(9) 罹災証明書及び被災届け出証明書の申請受付 (R7. 9. 6～R8. 3. 4)

(令和7年9月6日から令和7年9月7日)

罹災証明書及び被災届け出証明書の受付を、榛原庁舎2階エントランスで開始した。

(令和7年9月10日から9月15日)

車が被災した等により、さざんかまで申請手続きに来ることが困難な市民がいるとの声を受け、細江コミュニティセンターでも受付を開始した。

(10) さがら子生れ温泉会館の無料利用 (R7. 9. 6～R7. 12. 30)

被災者利用 (3,037 人)、災害ボランティア利用 (499 人)

(11) 市保健師、県保健師等の巡回訪問 (R7. 9. 6～R7. 9. 10)

発災後の生活状況、健康状態を聞き取り、心のケア等支援につなげた。

市保健師等：状況把握、熱中症予防啓発、ニーズの収集、ちらしの配布

(9/6～9/7) 訪問件数：314 件中 215 件

県保健師：高齢者世帯の心身の状態確認

(9/8～9/10) 訪問件数：225 件中 132 件

(12) 避難所健康支援 (R7. 9. 8～R7. 10. 24)

保健師が各避難所の健康状態の把握、心身の健康相談を実施。居室の環境整備、感染症予防、健康情報の啓発等を行った。栄養面では、管理栄養士が提供する食事の野菜の量を増やすなどの助言、改善を行った。

(13) クーリングシェルターの設置 (R7. 9. 6～R7. 9. 21)

設置場所：榛原総合病院 (133 人)、JA ハイナン榛原支店 (231 人)、
時ヶ谷町内会 (22 人)

(14) 住宅の緊急修理 (R7. 9. 8～R7. 11. 4)

申請件数：337 件 支払金額：17,091,396 円

(15) 被災住家戸別訪問 (R7. 9. 8～R7. 9. 10)

台風15号竜巻被害における被災住宅を一軒ずつ訪問し、被災者を見舞うとともに、市が行っている各種支援に関する資料を提供し、説明を行った。

また、市に対する意見や要望、困りごと等を聞き取った。

令和8年9月2日(水)

(16) 被災者への食事の提供 (R7. 9. 8～R7. 9. 15)

おにぎり、サンドウィッチ、パン (約 600 個)、お茶又は水 (1 人 2 個と飲み物)

(17) 学用品の現物支給 (R7. 9. 9～R7. 10. 4)

床上浸水等により学用品が損傷等し、就学に支障をきたしている児童生徒を救助するため、災害救助法に基づく教科書等の現物支給を行った。

	学用品(円)	人数	教科書(冊)	金額	人数
計	97,110 円	26 名	51 冊	28,647 円	10 名

(18) 応援職員の受入れ (R7. 9. 12～R7. 10. 24)

	受入れ期間	市町	陣	人数	延べ人数
県内	9/12～10/24	20 市 11 町	13 陣	338 人	1,043 人
県外	9/15～10/10	11 市 3 町	6 陣	33 人	246 人
計	9/12～10/24	31 市 14 町		371 人	1,289 人

(19) こころの相談 (R7. 9. 16～R7. 10. 31)

市保健師、日赤こころのケアチーム、中部健康福祉センター関係職員によるこころの相談を実施した。

相談件数：延べ 182 人 (市民、市職員、社協職員)

面談 158 人、訪問 15 人、電話 9 人

(20) 静岡県災害派遣福祉チーム (静岡 DWAT) との連絡調整 (R7. 9. 17～R7. 10. 10)

在宅避難者のニーズを把握するため、静岡県災害派遣福祉チーム (静岡 DWAT) の派遣を要請し、福祉専門職による生活実態調査を実施した。

訪問実績：訪問済み 801・不在 (チラシ投函) 543・空き家 45・要対応 108

合計 1,497 件

(21) 罹災証明書の交付 (R7. 9. 20～R8. 3. 19)

災害で被害を受けた住家について、被災者からの申請に基づき、住家の被害認定調査を実施し、国の基準に従い被害の程度を判定し、調査結果に応じた罹災証明書を交付した。

(22) ワンストップ窓口 (相談含む) の開設 (R7. 9. 20～R7. 11. 15)

罹災証明の申請後、市の調査が済んだ方に順次罹災証明書を交付した。併せて、住宅の被害程度や再建方法に応じて利用できる制度に関する相談窓口を設置した。

(23) 生活必需品給与 (R7. 10. 9～R7. 12. 4)

件数	申請件数上位 5 品	金額
100 件	①トイレットペーパー 8 ロール (108) ②ティッシュペーパー 5 箱 (105) ③フェイスタオル (99) ④寝具 6 点セット (95) ⑤バスタオル (77)	1,749,114 円

4 現在の対応状況について

【支援制度関係】

(1) (国制度) 被災者生活再建制度、災害見舞金(社会福祉課)【継続中】

※対象：全壊世帯、大規模半壊世帯、中規模半壊世帯、半壊解体世帯

支給項目	対象	申請数	支給済み数	支払済み額
被災者生活再建支援金	基礎支援金	151 件	147 件	108,875,000 円
	加算支援金	116 件	112 件	93,937,500 円

(2) 被災者生活再建支援金(市独自)業務について(社会福祉課)【R10.10.4まで継続】

※対象：半壊世帯、準半壊世帯

支給項目	対象	申請数	支給済み数	支払済み額
半壊世帯	147 件	116 件	112 件	24,370,000 円
準半壊世帯	304 件	269 件	264 件	35,292,500 円

(3) 災害見舞金(社会福祉課)【継続中】

支給項目	対象	申請数	支給済み数	支払済み額
災害見舞金	全壊・半壊負傷	351 件	351 件	21,120,000 円

(4) 県義援金(社会福祉課)【継続中】配分合計：189,188,535 円

※対象：全壊世帯、半壊解体世帯、大規模半壊世帯、中規模半壊世帯、半壊世帯
準半壊世帯、一部損壊、重症、軽症

総配分金：189,480,703 円

支給項目	対象	申請数	支給済み数	支払済み額
県義援金	1,375 件	1,370 件	1,369 件	188,627,595 円

(5) 個人事業主・中小企業等への支援・まきサポ相談会(商工企業課)【継続中】

【まきサポ】 毎月 第2・4金曜日 各日午前2枠、午後2枠 事前予約制

※令和7年度臨時まきサポ相談会 実績：14件(4回開催分)

【被災中小企業再建支援事業補助金の活用】

【第一次募集】	申請期間：令和8年2月2日～3月10日 交付件数：10件 交付決定額計：14,482,000 円
【第二次募集】	申請期間：令和8年5月8日～6月30日 交付件数：21件 交付決定額計：31,651,000 円
【第2.5次募集】 (8/27時点)	申請期間：令和8年7月1日～8月31日 申請件数：4件

(6) ふるさと納税(商工企業課)【継続中】

令和7年度分 45,362,532 円 (4,930 件)

令和8年度分 1,810,000 円 【8/27現在】

令和8年9月2日(水)

(7) 寄付金等について（財政課・企画政策課）【継続中】

令和7年度分

寄附金:64,374,461円(737件) 企業版ふるさと納税:81,400,000円(42件)

令和8年度分

寄附金:4,584,988円(43件) 企業版ふるさと納税:500,000円(1件)

【住宅関係】

(1) みなし仮設（賃貸型応急）住宅・県営住宅の対応（都市住宅課）【継続中】

※みなし仮設希望者78件・県営住宅13件＝計91件

希望有 78件	みなし決定済 78件	賃貸契約済 0件	不動産会社相談中 0件	検討中 0件	未定 0
------------	---------------	-------------	----------------	-----------	---------

	申込者	退去者	現在入居者
県営住宅	13件	4件	9件
みなし仮設住宅	78件	17件	61件

(2) 応急修理（都市住宅課）【継続中】

支給項目	申請数	支給済み数
応急修理 9/4まで延長	353件	請書通知済353件・支払済334件 業者修正待0件 支払済金額 170,979,383円 (R7:283件 144,935,755円) (R8:51件 26,043,628円)

生活家電貸出 申込世帯数26世帯

冷蔵庫19・洗濯機20・テレビ16・エアコン10

(3) 公費解体、費用償還（自費解体）の対応（環境課）【12/23申請窓口開設】

～9月末予定

相談日	相談者数	公費解体	費用償還	相談	全壊	大規模半壊	中規模半壊	半壊	その他
12月中	15人	8人	3人	4人	11件	3件	0件	1件	0件
1月中	47人	16人	18人	13人	16件	5件	8件	4件	0件
2月中	30人	10人	16人	4人	10件	2件	4件	6件	0件
3月中	17人	6人	8人	3人	4件	1件	2件	1件	0件
4月中	6人	2人	4人	0人	4件	0件	0件	1件	0件
5月中	7人	2人	5人	0人	2件	2件	2件	0件	0件
6月中	12人	3人	7人	2人	4件	0件	3件	1件	0件
7月中	7人	0人	6人	1人	1件	0件	0件	2件	0件
8月4日	0人	0人	0人	0人	0件	0件	0件	0件	0件
8月6日	1人	1人	0人	0人	0件	0件	1件	0件	0件
8月18日	4人	2人	2人	0人	1件	0件	1件	0件	0件
8月20日	2人	0人	2人	0人	1件	1件	0件	0件	0件
8月25日	0人	0人	0人	0人	0件	0件	0件	0件	0件
8月27日	0人	0人	0人	0人	0件	0件	0件	0件	0件
計	148人	50人	71人	27人	54件	14件	21件	16件	0件

※実相談者数:83人、非住家(被災):43件相談有

令和8年9月2日(水)

申請受理数

申 請 受理済	数	公費 解体	費用 償還	内訳計	全壊	大規模 半壊	中規模 半壊	半壊	非住家
	64 件	27 件	37 件	64 件	29 件	5 件	8 件	2 件	20 件

公費解体：発注件数 17 件（うち 17 件着工済み（うち 17 件完了））

費用償還：交付決定件数 32 件（うち 29 件支払済み）

(4) 廃棄物処理場及び廃棄物搬出、処理状況（環境課）【公費解体分継続中】

※9/6～10/26 高台終了 5,835 台受入れ（過去ピーク 1 日 747 台）

10/26 以降の搬入 75 台 全累計 5,910 台

災害廃棄物の種類		災害廃棄物の量（単位：トン）			
		仮置場	処理済量	合計	備考
災 害 廃 棄 物	可燃ごみ	0	327.1	327.1	うち 90.8t は牧御組合へ搬入・ミダック委託分
	廃材・木くず	0	1,426.2	1,426.2	ハイナン委託分
	廃プラスチック	0	105	105	ハイナン委託分
	金属類	0	105.1	105.1	大興金属委託分
	家電 4 品目	0	47.8 (888 台)	47.8 (888 台)	(株)ダイキュー運輸へ搬入
	小型家電 (PC 等含)	0	9.2	9.2	吉牧リサイクルへ搬入・エコネコル委託分
	瓦・コンクリート スレート・ガラス	0	883.8	883.8	ハイナン委託分
	処理困難物（混合建材等）	0	137.1	137.1	ミダック委託分
	処理困難物（ソーラーパネル・廃 マットレス・廃タイヤ等）	0	25.4	25.4	ハイナン委託分 エコネコル委託分
	市民から吉牧直接搬入分	0	5.1	5.1	可燃物以外
合 計		0	3,071.8	3,071.8	

(5) 公費解体制度についての国・県要望活動（環境課）

・環境省への要望活動【環境省】 令和8年8月4日(火)

被災者の早期の生活再建と災害廃棄物の適正かつ迅速な処理を図るため、以下について環境大臣あてに要望

対応：青山環境副大臣

① 公費解体制度の見直しについて

② 国庫補助事業の対象期間延長について

③ 災害等廃棄物処理事業に関する標準単価等について

・静岡県知事への要望活動【静岡県庁】 令和8年8月12日(水)

被災家屋等の撤去・処分について、災害等廃棄物処理事業を円滑に進めるため、災害等廃棄物処理事業に関する標準単価等について静岡県知事に要望

対応：静岡県くらし・環境部長

【農林業関係】

(1) 農地への飛散物対応（農林水産課・お茶特産課）【継続中】

対応内容：農地への飛散物の処理

2/9 静波区・細江区・坂部区へアンケート全戸配布

3/31 アンケート回収

4/26 アンケート取りまとめ結果確認 11件(web 回答8件 紙回答3件)

5/22 要望のあった1件について農業ボランティアの実施決定

7/8 農業ボランティア実施方法を協議 NPO 法人 ESUNE でボランティア募集

8/19 農業ボランティア募集締め切り

8/30 農業ボランティア実施予定(9:00~11:00) 細江地内 参加者10名

(2) 森林被害等の災害復旧（森の力再生事業）への対応（お茶特産課）【継続中】

照国寺裏現場工事

内 容：倒木除去と共に搬出及び安定残置。伐根はせずに伐倒のみ

令和7年度：作業範囲0.4ha 工事（着手1/26 完了2/27）

令和8年度：作業範囲0.5ha 工事（着手4/20 完了6/22）

その他対応について

県との協議（第1回）

日 時：4月15日

状 況：被害総面積が17ha（空撮による確認より変更）で、大半は自然回復による対応とし、人家密集地から200m以内の人家に被害を及ぼす可能性が高い山林1.5ha（内、照国寺エリア0.9ha）の復旧（森の力再生事業）の実施を検討する。

課 題：災害復旧対象の山林が民有地のため、所有者の金銭的負担が発生する場合は、地権者と地域及び行政での調整により、必要な事業による復旧（治山事業、土砂災害危険区域等対応）を検討する。

地元への説明

区長説明（6月25日）

内 容

- ・照国寺エリアの工事終了を報告（6月22日）

- ・地元（時ヶ谷地区）説明会について（※工事完了と今後について）

説明会

開 催：7月27日（月）細江コミュニティセンター

対 応：志太榛原農林事務所及び市

内 容

- ・照国寺エリアの工事完了を報告

- ・今後の工事方針について（※小木谷地区）

(3) 被災した農業用施設への対応（お茶特産課）【継続中】

農業用施設被害（農業用ハウス 全壊 91 棟 一部損壊 139 棟）

対 応

各種農業保険制度（農業共済等）や国等補助金による支援。その他は自己資金の活用により被災施設を再建。再建後は営農を再開。

支援状況

①農地利用効率化等支援交付金（8月25日現在）

申請者：17 経営体 20 件（完了：14 経営体 15 件）

支払済：54,789,000 円（全体：74,733,000 円）

【内訳】

	再 建	修 繕	防 霜 ファン	集出荷 施 設	農業資材 保管庫	農業用 トラクター	自 動 巻上げ機
完了	10 棟	20 棟	0 機	1 棟	1 棟	1 台	1 基
繰越	2 棟	3 棟	7 機	0 棟	0 棟	0 台	0 基
合計	12 棟	23 棟	7 機	1 棟	1 棟	1 台	1 基

②産地生産基盤パワーアップ事業補助金【完了】

申請者：1 経営体 1 件

補助額：89,300,000 円

内 容：再建に必要な資材購入の補助

内 訳：農業用ハウス 27 棟分

【見守り・再建支援関係】

(1) 災害ボランティアセンターの社協との調整（社会福祉課）【継続中】

※災害ボランティア 累計 1,211 人（毎月第4日曜日）

災害ボランティアセンターの閉鎖：令和8年8月31日(月)

公費解体等で今後ニーズがあれば、技術系ボランティア（県の NPO 団体）が必要に応じて対応する。

災害ボランティアセンターは閉鎖するが「閉鎖後も災害に関するニーズがあれば対応する」旨のチラシを作成し、行政連絡会、班回覧等で周知済。（社会福祉協議会）市からもホームページ及び公式 LINE で周知する。

(2) ささえあいセンターの支援件数について（福祉相談課・社会福祉協議会）【継続中】

※社会福祉協議会へ委託(8/16 現在) 表内の（ ）内数は累計件数

対応内訳

訪問	電話（セ ンター発）	電話（セ ンター受）	来所	手紙	外部 連携	カンファ レンス	その他	計
30 (375)	53 (413)	12 (61)	4 (55)	0 (74)	0 (3)	1 (6)	13 (66)	130 (1,068)

相談内訳

家族関係	経済面	居住関係 (仮設)	居住関係 (再建)	就労関係	介護福祉関係	健康医療関係	その他	計
0 (19)	0 (28)	3 (37)	29 (194)	0 (6)	5 (30)	26 (97)	17 (150)	62 (561)

見守り区分判定

A判定	B判定	C判定	D判定	合計
4件	15件	71件	250件	340件

※A判定が見守りの必要性が高い方、順にB、C、不要な方がD

再建支援区分判定

区分1	区分2	区分3	区分4	審査中	合計
3件	13件	59件	265件	0件	340件

※区分1が継続支援の必要性が高い方、順に2、3、不要な方が4

- ・相談内容は居住関係（再建）が多数を占めている。
- ・健康医療関係が増加しているのは、75歳以上の方へ熱中症予防の声掛けを始めたため。

(3) ささえあいセンターへの要望対応状況（福祉相談課・社会福祉協議会）【継続中】

※社会福祉協議会より福祉相談課へ

復興支援室（危機管理課）から担当部課へ対応指示

ささえあいセンターからの要望	市役所内部課依頼 件数	市役所内部課 対応中数	市役所内部課 対応済数
66件	66件	0件	66件

(4) 被災者同士の交流の機会の創出（福祉相談課・社会福祉協議会）【継続中】

①坂部第1町内会居場所づくり 令和8年7月12日(日)

40名ほどが参加し交流を行い、互いの近況などを語り合う場となった。

②細江時ヶ谷町内会交流の場づくり 令和8年10月10日(土)

時ヶ谷公民館隣の空き地で、みなし仮設に入居中の方や地域に残っている方が集まる、交流の場を提供する。

(5) その他のトピックス

夏休みお天気教室の開催

日時場所：令和8年8月9日(日) 牧之原市総合健康福祉センターさざんか

NPO法人 気象キャスターネットワーク主催の夏休み親子お天気教室が開催され、吉田町牧之原市の小学生の親子約70名が参加した。